

政策文書住宅用ソーラー奨励プログラム

I. 目的

この政策の目的は、住宅環境における太陽エネルギーの導入を促進することを目的とした、包括的な一連のインセンティブを確立することである。本政策は、住宅所有者が太陽エネルギーを手ごろな価格で利用できるようにするための8つの主要戦略の概要を示している。

II. ポリシー

1. 直接補助金：

ソーラーパネル設置費用の30%相当額を住宅所有者に直接補助する。この取り組みは、住宅所有者の経済的負担を大幅に軽減することを目的としている。設置費用20,000ドルのシステムの場合、住宅所有者は6,000ドルの直接補助金を受け取ることになる。

2. 税制優遇措置：

太陽エネルギーの導入をさらに促進するため、ソーラーシステムの総費用の26%が税額控除される。この税額控除により、20,000ドルのシステムのコストは実質的にさらに5,200ドル削減される。

3. 太陽再生可能エネルギー証書（SREC）：

太陽光発電システムの発電量1メガワット時（MWh）ごとに、住宅所有者には1枚のSRECが与えられる。この証書は市場で電力会社に売却することができ、現在の市場レートに基づくと、証書1枚あたり最高250ドルを得られる可能性がある。

4. ネットメータリング：

この政策は、住宅用ソーラーパネルで発電した余剰電力を送電網に売電することを促進するものである。固定価格買取制度は1キロワット時（kWh）あたり0.10ドルに設定され、住宅所有者は投資から収入を得ることができる。

5. 低金利融資：

地元金融機関との提携により、住宅所有者には太陽光発電設置のための低金利ローンが提供される。これらのローンの金利は、APR1.99%が上限となる。

6. グループ購入またはソーラー化プログラム:

太陽光発電システムの一括購入を促進するため、地域に根ざした取り組みが推進される。こうしたグループ購入プログラムにより、システム1台あたりのコストを最大20%削減できる可能性がある。

7. 教育とアウトリーチプログラム

太陽エネルギーに関する教育リソースの開発と普及に投資する。これには、住宅所有者が太陽エネルギーの利点と奨励プログラムの詳細を理解するのを支援することを目的とした無料のワークショップやオンラインリソースが含まれます。

8. 改善とアップグレードに対する奨励金:

太陽光発電システムのエネルギー貯蔵や効率アップグレードの費用には、さらに10%のリベートが提供され、住宅所有者がシステムを強化し、省エネルギーにさらに貢献することを奨励する。

III. 実施

これらの政策の実施には、様々な政府機関、地元の電力会社、金融機関、住宅所有者間の効果的な協力が必要である。このような奨励策の効果や利用状況を定期的に評価するため、評価措置が講じられる。

IV. 発効日

この方針は、批准後、会計年度の初めから発効する。

V. レビュー

この方針は、その有効性を確保し、変化する市場環境、技術の進歩、住宅ニーズに適応するため、2年ごとに見直される。